

ハクサンオオバコ	<i>Plantago hakusanensis</i> Koidz,	絶滅危惧Ⅱ類
		オオバコ科
選定理由	分布域の相当部分に交雑のおそれのある、または生態的に優越すると見込まれる別種が進入している。	<p>写真(岐阜県博物館)</p> 
形態の特徴	塊状の根茎から5-10枚の葉を束生する。花期は7-8月。高さ10cm位の穂状花序を1-5本出す。	
生態的特徴	亜高山帯の湿った草地に生える多年草。	
分布状況	本州(白山)以北の日本海側の山地に分布し、県内では県北に見られる。	
減少要因	分布域の相当部分に交雑のおそれのある、別種が進入し、さらに生育条件が悪化している。	
保全対策	オオバコが亜高山帯以上に侵入できない工夫と、人の踏みつけ対策を図る。	
特記事項	一部で交雑種とみられる固体が報告されている。	
参考文献	絶滅のおそれのある野生生物 岐阜県。	

文責: 廣田艶子